

いぐだたみ

No. 158
2009年2月

▽ 県立長崎図書館講座 ▽

第2回図書館講座

平成20年9月6日（土）本館講堂において、長崎市在住の芥川賞作家青来有一氏と、活水女子大学教授田中俊廣氏を招き、対談「長崎を書く長崎で書く」と題して第2回県立長崎図書館講座を開催しました。長崎ゆかりの作家である佐多稲子の「樹影」、林京子の「祭りの場」、野呂邦暢の「鳥たちの河口」、青来氏の「爆心」を中心に、長崎という土地、風土の特性、長崎に生まれ住むことに対する思い、長崎ゆかりの文学の魅力などについて語っていただきました。



受講者からは、「とても興味深く聞きました。青来氏の商品をもっと読みたいと思いました。」や「二人の対談をお聞きして長崎を深く考える機会を与えていただきました。」などの感想が寄せられ大変好評でした。

第3回図書館講座



11月1日（土）には、「版画の魅力 ～橋口五葉の世界～」と題して第3回県立長崎図書館講座を開催しました。講師には、長崎市在住で本県を代表する版画家の小崎侃氏と山本美術館館長の山本直希氏を招きました。山頭火や被爆俳人松尾あつゆきに関する小崎氏の創作版画にける思いや、橋口五葉の美人版画の紹介を交えながら、版画の魅力について語っていただきました。

「版画の可能性、おもしろさを感じた。」や「小崎先生の版画を見て、画の中にやさしさを感じました。近い内に山本美術館を

訪ねたいと思いました。」などの受講者からの感想があり、こちらも大変好評でした。

本館では、来年度も年間3回の長崎図書館講座を開催する予定です。どうぞご期待ください。

もくじ

- ◎ 第2・3回図書館講座 P 1
- ◎ 直筆色紙展の案内 P 2
- ◎ 職場体験・職場訪問 P 2
- ◎ こども大会活動報告 P 2
- ◎ 平成20年度長崎県読書活動優良団体表彰の紹介 P 2～3
- ◎ 図書館からの資料・行事案内及びお願い P 4



で



2010年(平成22年)は国民読書年!

直筆色紙展の案内

今年度最後の企画展「直筆色紙展 ～長崎ゆかりの文学者を中心に～」を開催しています。本館が所蔵する第一級の「お宝」である著名な文学者たちの直筆色紙を一挙公開しています。

斎藤茂吉、井上光晴、白石一郎、さだまさし、吉田修一、佐多稲子、福田清人、長与善郎など、長崎ゆかりの文学者はもとより、サイデンステッカー、武者小路実篤、室生犀星、佐佐木信綱、新村出、高見順、檀一雄、柳田邦男、北杜夫などの直筆色紙約50枚を展示しています。

4月12日（日）まで、本館4階の郷土資料展示室において開催しています。郷土資料展示室の開館時間は9時30分から17時まで、休館日は毎週月曜日（祝日の場合は翌火曜日）と月末です。この機会に、文学者たちの筆跡や色紙に遺したメッセージに直に触れてみませんか。ご来館をお待ちしています。



(斎藤茂吉直筆色紙)

職場体験・職場訪問

市内の高等学校や中学校から、多くの生徒さんが職場体験学習や職場訪問に訪れました。高等学校からは5校、18名、中学校からは8校、35名のみなさんが、図書館の仕事について学んだり、実際に仕事を体験したりしました。この他にも、平和学習や郷土研究などで、多くの中学生や高校生に本館を利用していただきました。



(県立長崎東中学校)

訪れたみなさんは、81万冊という蔵書を書庫で体感し、図書館の仕事の複雑さや緻密さ、体力の必要性などを学び、県立長崎図書館の存在意義をしっかりと認識してくれたものと思います。

「見た目は古くて小さいけど、県立図書館の中身はすごい！」という感想に職員も励まされました。



(県立野母崎高校)

こども大会活動報告

平成20年12月12日（土）、毎年恒例のこども大会を開催しました。当日は、パネルシアター、手遊び、大型絵本、人形劇、手品と盛りだくさんの内容で、子どもたちや保護者90名の皆様に楽しんでいただきました。皆様ご参加いただきありがとうございました。

平成21年度も同じ時期に開催を予定しております。次回も多くの方々のご参加をお待ちしております。



平成20年度

長崎県読書活動優良団体表彰の紹介

～県内各地で読書活動を通じて、地域文化の向上と発展に貢献している団体を表彰しています～

小値賀町 おはなし会「たんぽぽ」

大型絵本を使って

小値賀町立図書館を拠点として活動している、おはなし会「たんぽぽ」は、小値賀の子ども達に、もっと絵本に親しんでもらおうと平成11年に発足しました。

当初の活動は、図書館で幼児向けのおはなし会を行うのみでしたが、経験を積むとともに徐々に活動範囲が広がってきて、今では小値賀小学校で週2回朝



の読書タイムでの読み聞かせや、図書館で年6回乳幼児～小学校低学年向けのおはなし会を行い、学校や町のイベント等でも年に数回お声がかかるようになりました。その準備のため毎週2回、図書館で選書をしたり、読み聞かせの内容などを話し合う集まりを開いています。

メンバーは現在6名。みんな仲がよく、集まると笑い声が絶えず、「おはなし会」が「おしゃべり会」になってしまうこともしばしばです。

子ども達は、朝の読み聞かせやおはなし会をととても楽しみにしてくれており、街中で会っても、「たんぽぽさん、



最近のおはなし会から

こんにちは！」「次はいつ来るの？」などと声をかけてくれるのですが、そんな時、心がほんわり温かくなり、実は私たちの方が子ども達に元気をもらい、癒されていることに気付かされます。

本は私たちの心の栄養だと思います。私たちの活動により、子どもたちにとって少しでも本が身近なものになり、自分に興味のあることを見つけたり、他人の気持ちが分かるようになったりするお手伝いができればいいなあと思います。

最後に、今回の受賞は私たちの大きな喜びと同時に、大きな励

みとなりました。ありがとうございました。これからも「たんぽぽ」の綿毛のように、「本が大好き！」の種を蒔いていこうと思います。

(文責 おはなし会「たんぽぽ」)

南島原市有家町 おはなしの会「ちゅうりっぷ」～地域子ども達とともに～



平成9年、島原半島の有家町に小さな図書館が開館しました。

そして翌年の平成10年10月に、図書館のバックアップをいただきながら私達のボランティアグループおはなしの会「ちゅうりっぷ」が誕生しました。今年で10年目を迎え、年間50回程度さまざまな事業に取り組んでいます。

その主な活動として、毎月2回、図書館での読みかたり、生後6ヶ月健診時におけるブックスタート事業、有家町子ども連絡協議会主催の「七夕まつり」、そして年1回の「図書館まつり」な

どがあります。特に「七夕まつり」や「図書館まつり」では、たくさん子ども達や保護者が参加してくれるので、メンバー全員が力を合わせて取り組んでいます。その他、南島原市こども教室推進事業『寺子屋21』では小学生を対象に毎月2回、2時間の教室を開催させていただいています。この『寺子屋21』の活動のねらいの一つは、校区内外を問わず子ども達がひとつの活動を通して友好を深めることですが、この教室には学童保育の子ども達も参加しているので、その主旨にそった活動だと思っています。

また、昨年度より始められた「島原半島おはなしフェスティバル」にも参加させてもらう機会を得ました。

この活動は、島原半島3市(島原市・雲仙市・南島原市)の図書館が主催するもので、広範囲の子ども達に島原半島のボランティアグループがおはなし会をするという一大行事です。

この活動を通して、他のボランティアグループとの交流や親睦を深めるとともに、情報の交換や刺激を受け、私達の技術の向上にもつながる良い機会を得ています。

今年は、新しく若い2人の加入がありました。

今後の取り組みとして、若い人材の育成と、地域子ども達に読みかたりをすることにより、会員の一人一人が楽しみながら末永く継続していけたらよいと思っています。(文責 おはなし会「ちゅうりっぷ」)



戯曲・脚本集を読んでもみませんか?

～互助文庫「演劇(ドラマ)」コーナーの紹介～

今年度は長崎県教職員互助組合から、たくさんの演劇関係の図書を寄贈していただきました。1月下旬から、3階閲覧室に互助文庫「演劇(ドラマ)」コーナーを作っています。

戯曲や脚本集を中心にこども向けの劇の作り方、演技やボイストレーニングのやり方、音響や美術等劇づくりを支える様々な仕事に関する本などが並んでいます。演劇に興味がある小・中学生や高校生、本格的に演劇を勉強している方、皆様の生涯学習の資料としてなど幅広い年代の方に楽しんでいただけたらと思います。充実した書棚になっています。興味のある方はぜひお気軽にお越しください。



資料寄贈のお願い

本館では、「地域資料」を収集しています。

「地域資料」とは

1 長崎県について書かれたもの

歴史・文学・政治・産業・経済などあらゆるジャンルのもの

2 長崎県出身・在住・在職の方が書いたもの

小説・歌集・句集・自分史・写真集・作品集など

3 長崎県内で発行された資料

自治体やグループなどが作成した調査資料や同人誌、県内企業の社史・研究報告書、広報誌・パンフレットなど、また、書籍・雑誌だけでなくDVD・CD・ビデオテープなども収集しています。

できれば、3部(保存用・閲覧用・貸出用)で寄贈ください。

※ご寄贈いただいた資料は、広く県民の方々の利用に供するとともに、本県の文化財産として永年保存し、次世代への文化継承に努めていきます。



催し物のご案内

平成21年度 第1回県立長崎図書館講座(予定)

日時：平成21年6月27日(土)

13:30～15:30

場所：県立長崎図書館2階講堂

内容：対談「宮崎康平を語る～文学者として辿った道～」

康平氏夫人 宮崎和子氏

前長崎女子短期大学 学長 田中正明氏

平成21年度「長崎ゆかりの文学展」(予定)

場所：県立長崎図書館4階郷土資料展示室

時間：9:30～17:00(ただし休館日を除く)

内容：第1回「宮崎康平展」

(平成21年4月25日(土)～7月12日(日))

第2回「原爆文学展」

(平成21年7月22日(水)～8月30日(日))

※都合により内容等がかわる場合があります。ご了承ください。

編集・発行 長崎県立長崎図書館 長崎市立山1丁目1番51号/印刷 平和堂オフセット印刷(株) 長崎市出島町5番11号
ISSN 1344-5235 ホームページアドレス <http://www.lib.pref.nagasaki.jp>

270 この広報誌は、環境に配慮した再生紙を使用しています。